



2020年11月分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH
東京税関羽田税関支署

羽田空港貨物取扱量

総取扱量が前年同月比で9ヵ月連続減、積込量は24ヵ月連続減、取卸量は9ヵ月連続減

概要

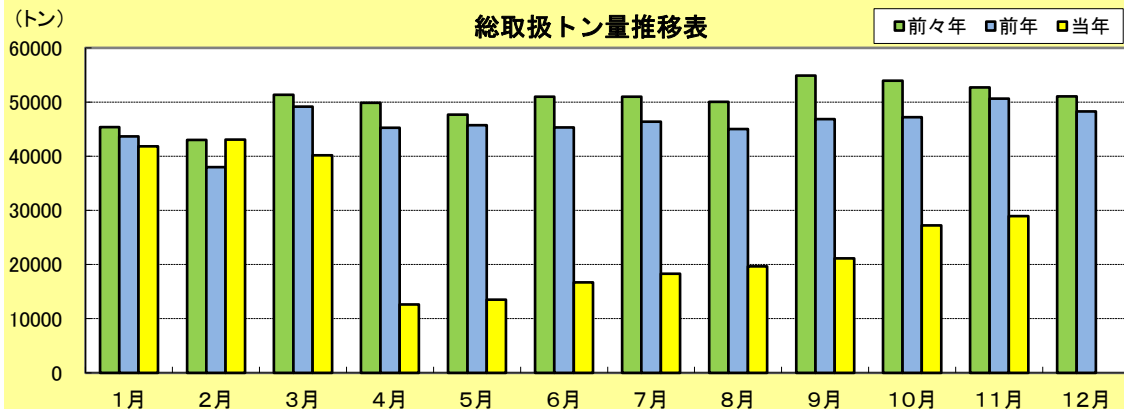
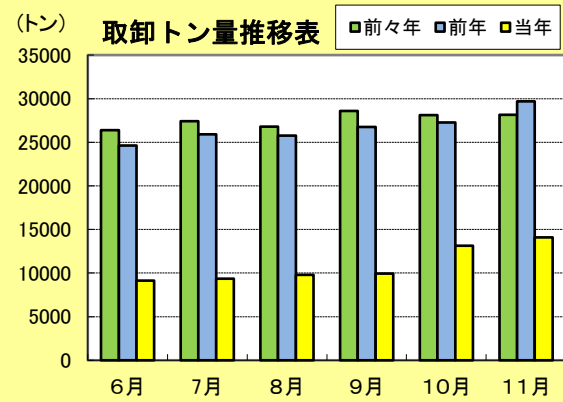
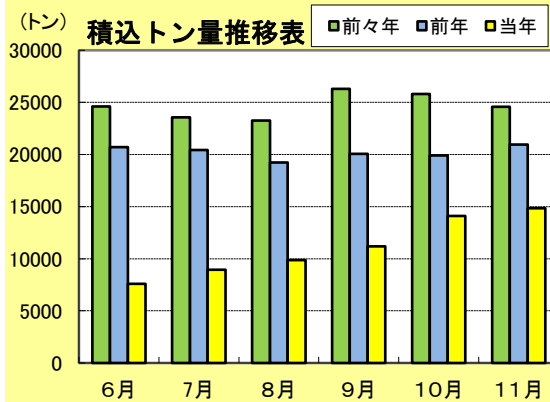
2020年11月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 28,953トン(前年同月比 42.8%減)

積込量 14,845トン(同 29.2%減)

取卸量 14,108トン(同 52.5%減)

となり、前年同月比で見ると、総取扱量が9ヵ月連続、積込量は24ヵ月連続、取卸量は9ヵ月連続でマイナスとなった。



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関(羽田税関支署)の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課(TEL050-5533-6971)まで。



地域別通関動向

● 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 771トン(前年同月比 36.0%減、シェア 11.3%)

その他地域通関 6,067トン(同 36.0%減、同 88.7%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関は9ヵ月連続、その他地域通関は23ヵ月連続でマイナスとなった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 4,229トン(前年同月比 58.7%減、シェア 51.1%)

その他地域通関 4,040トン(同 41.7%減、同 48.9%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、9ヵ月連続でマイナスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 8,007トン(前年同月比 22.2%減)

取卸量 5,839トン(同 53.3%減)

となり、前年同月比で見ると、積込量、取卸量ともに9ヵ月連続でマイナスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2020年11月の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 709トン(前年同月比 27.5%減、シェア 16.8%)

ドライ貨物 3,520トン(同 62.0%減、同 83.2%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、水産物43.6%(同52.7%増)、果物8.7%(同49.1%減)、野菜等22.3%(同47.3%減)、植物(切花等)7.1%(同72.0%減)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2020年11月			2019年11月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	4,229	41.3%	100.0%	10,248	101.3%	100.0%
生鮮	709	72.5%	16.8%	978	53.7%	9.5%
ドライ	3,520	38.0%	83.2%	9,270	111.8%	90.5%